

3 題材の目標および題材構想

「匠の技を生かして、ものづくりに挑戦だ ～相かきつぎを用いた製作～」(13 時間完了)

(1) 題材の目標

① ものづくりに関心をもち、意欲的に作業を進めることができる。	(生活や技術への関心・意欲・態度)
② 作業工程を考える中で、効率よく作業を進めることができる。	(生活を工夫し創造する能力)
③ 安全に留意して正しく工具を使い、加工できる。	(生活の技能)
④ 接合に関する知識を身に付けている。	(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	ものづくりに関心をもち、進んで仲間と協力して製作に取り組み、意欲的に作業を進めることができる。
生活を工夫し、創造する能力・・・【工】	作業工程を考える中で自分が考えた構想を図面に表し、適切な加工方法を導き出して作業を進めることができる。
生活の技能・・・【技】	製作に必要な工具(さしがね、両刃のこぎり、のみ、げんのう、きり等)を用いて安全に正しく加工することができる。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	接合方法や接合順序を理解して、製作に生かし、説明できる。

(3) 題材構想

学習過程とねらい	時数	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
1 構想計画 ○日常生活を振り返り、決められた条件の中で製作計画を立てる。	2	1 構想を練る。 ・使用目的や使用条件を満たすにはどうすればよいか考える。 ・丈夫な作品にするための接合を考える。	・考えが深まらない生徒には、例示を見せ、はっきりイメージさせることで製作意欲をもたせる。 ・どのような作品にするか、班で意見を出し合い、意見を共有することで作品製作に生かすように伝える。 ☆話し合いを通して使用目的や使用条件を考え、自分の作品に生かそうとしているか。 (授業の様子)【関】
2 材料加工 ○計画に沿って材料を加工する。	4	2 材料を加工する。 ・材料取り図を基に材料にけがきを行う。 ・切り代と削り代を考えて寸法線を引く。 ・両刃のこぎりを使って材料を切断し、かんなやベルトサンダで寸法を揃える。	・構想通りの作品に仕上げるためには、けがきが大切であることを伝え、けがきが終わった段階で全員の商品に目を通し、チェックを行う。 ☆切り代と削り代を考慮したけがきができたか。 (工具の使い方)【技】

			<ul style="list-style-type: none"> 使用する工具は、必ず示範し、安全な作業を心掛けるよう注意を促す。 <p>☆正確な材料取りができたか。</p> <p>(工具の使い方)【技】</p>
<p>3 組立て</p> <p>○相かきつぎを取り入れることで丈夫な作品をつくる。</p>	6	<p>3 接合する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮組立てを行う。 見通しを考えた順序で接合を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>けがき のこぎり引きのみうち</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 相かきつぎを行う。 くぎ接合を行う。 要所ごとに仮組立てを行い、板の組み合わせや釘の位置を揃え、修正していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間巡視を適宜行い、示範を通して、作業に取り組みやすいようにしていく。 作品製作がうまくいかなかった場合、一度作業を中断し、どこがうまくできなかったか、意見を出し合い、修正できるよう案を出し合わせる。 示範することで工具の使い方や手入れの仕方、力加減等、作業が効果的に進められるようにする。 <p>☆安全に留意して正しく工具を使い加工できるか。(活動の様子)</p> <p>【技】</p>
<p>4 日常生活に生かす。</p> <p>○使用してみて気付いたことを話し合う。</p>	1	<p>4 製作の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行う。 班員の作品を見て感想を述べ合う。 作品の紹介をする。 環境を守るために自分たちでできることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で技術が必要な場面を考え、これからどのようにものと接していけばよいか考え、意見を挙げさせる。 環境に目を向け、技術が担う役割についても考えるようにさせる。 <p>☆自分の意見をもつことができたか。(ワークシート)【関】【工】【知】</p> <p>(テスト)【知】</p>